

オオヒキガエル識別マニュアル

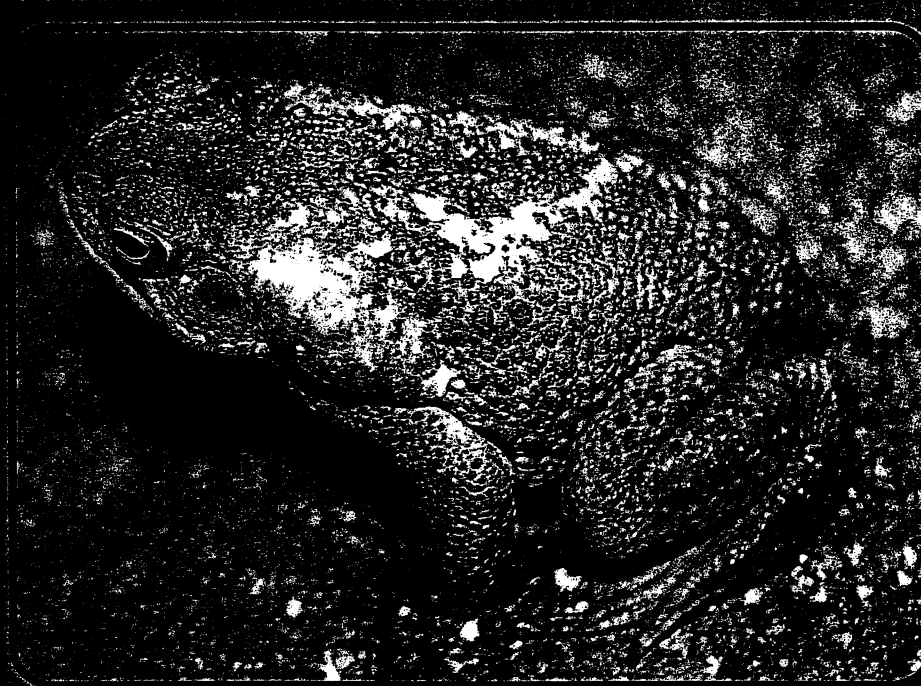
移入種オオヒキガエルは1978年頃に石垣島に持ち込まれ、今では島全体に広がりました。最近、西表島で発見され、繁殖することが心配されています。もし西表島でオオヒキガエルを見つけたら、西表野生生物保護センターに連絡してください。

TEL 09808-5-5581

毒液を出す
オオヒキガエル(オス)

体長8~16cm。目の後ろにあるコブ(耳腺)から白い毒液を出します。目の周りにゴツゴツした隆起(骨質隆起)があります。

オオヒキガエルにさわった場合には、手をよく洗いましょう。毒が目や口に入ると危険です。



オオヒキガエルの成体と幼体



大きなものは手のひら位になります。幼体でも、目の後ろには耳腺があります。

オオヒキガエルの雌雄



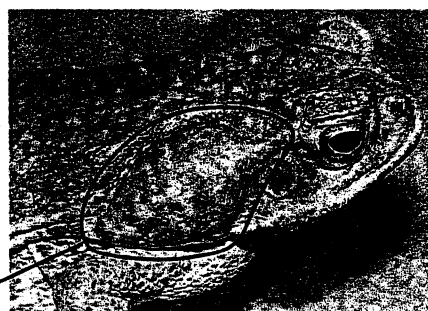
左がオス。オスは背中の模様がなく、のどと指が黒っぽくなります。



写真のオオヒキガエルは石垣島産

●オオヒキガエル見分けのポイント

オオヒキガエルは耳腺が目立ち、背中には一面のイボがあります。それらしいカエルを見つけたら、目の後ろをよく見てください。



オオヒキガエル 大きな耳腺がある



サキシマヌマガエル 耳腺はない

耳腺

(西表島産)